

展示室1 c ルドンコレクションから：黒のファンタジー

2026年7月23日(木)から9月27日(日)

○印は8月16日(日)まで、●印は8月18日(火)から展示

岐阜県美術館は19世紀後半から20世紀にかけて活動したフランスの画家オディロン・ルドンの作品を重点的に収集し、世界有数のコレクションを形成しています。本展示では、ルドンが1860年代から90年代にかけて取り組んだ木炭画や版画作品を中心に、独創的な黒の世界を紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法素材
オディロン・ルドン	1840-1916		がいこつ 骸骨	1880頃	木炭、紙
			ぜったい たんきゆう てつがくしゃ 絶対の探求…哲学者	1880	木炭、紙
			気球	1883	木炭、紙
			ぬま 沼の花		木炭、紙
			ひたん 悲嘆	1893頃	木炭、紙
		●	まなざし	1889-94頃	パステル、木炭、チョーク
			はつが 『夢のなかで』II.発芽	1879	リトグラフ、紙
			げんし 『夢のなかで』VIII.幻視	1879	リトグラフ、紙
			きみよう むげん 『エドガー・ポーに』I 眼は奇妙な気球のように無限に向かう	1882	リトグラフ、紙
			かめん とむら 『エドガー・ポーに』III 仮面は吊いの鐘を鳴らす	1882	リトグラフ、紙
			しょそんざい みちび いぶき 『エドガー・ポーに』V 諸存在を導く息吹は球の中にもある	1882	リトグラフ、紙
			きげん ひょうし とびらえ 『起源』表紙＝扉絵	1883	リトグラフ、紙
			ぶっしつ おくそこ せいめい めざ 『起源』I. おぼろげな物質の奥底で生命が目覚めた時	1883	リトグラフ、紙
			さいしよ しかく こころ 『起源』II おそらく花の中に最初の視覚が試みられた	1883	リトグラフ、紙
			ぶかつこう うすわらい みにく 『起源』III 不恰好なポリープは薄笑いを浮かべた醜い一つ目巨人のように岸边を漂っていた	1883	リトグラフ、紙
			にんげん あらわ 『起源』VIII.そして人間が現れた。彼が出てきた、彼を引き寄せる大地に訊ねながら、暗い光に向かって道を切り開いていった	1883	リトグラフ、紙
			しょう 『ゴヤ頌』II 沼の花、悲しげな人間の顔	1885	リトグラフ、紙
		●	よこがお 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
			『夜』IVキマイラはあらゆるものを恐ろしそうに見つめた	1886	リトグラフ、紙
			だてんし つばき 『夜』III 墮天使はその時黒い翼を開いた	1886	リトグラフ、紙
			せい ゆうわく つばき 『聖アントワーンの誘惑』第一集II それは二つの翼の下に、七つの大罪を抱えた悪魔だ…	1888	リトグラフ、紙
			『聖アントワーンの誘惑』第一集X …まるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく	1888	リトグラフ、紙

		『ギュスターヴ・フロベールに』（『聖アントワヌの誘惑』第二集）I 聖アントワヌ：…その顔を覆い隠す長い髪の毛を透かし見た時、私はそれがアンモナリヤだと思 いこんだのだ	1889	リトグラフ、紙
		○ 眼をとじて	1890	リトグラフ、紙
		『夢想（わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために）』 VI 日の光	1891	リトグラフ、紙
		○ 天上の芸術	1894	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』第三集XIV オアンネス：混沌の最初の意識である私は、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでてきた	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』第三集XVI 私はいつまでも偉大なイシス！まだ誰も私のヴェールをかかげたものはいない！私の果実が太陽なのだ！	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』第三集XVIII アントワヌ：これらすべての目的は何だろう？ 悪魔：目的などはないのだ！	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』第三集XXII …革袋のように丸い、海の獣たち	1896	リトグラフ、紙
		「幽霊屋敷」 IV. 十中八九それは私のと同様に肉と血をもつ手であった	1896	リトグラフ、紙